

# NEWS RELEASE

キャノンマーケティングジャパン株式会社  
キャノン電子株式会社

## 有線 / 無線 LAN に対応した A4 ネットワークモデル ドキュメントスキャナー “imageFORMULA DR-S150” を発売

キャノンマーケティングジャパン株式会社(代表取締役社長：坂田正弘、以下キャノン MJ)は、キャノン電子株式会社(代表取締役社長：酒巻久)製のドキュメントスキャナー「imageFORMULA(イメージフォーミュラ)」シリーズの新製品として、有線 / 無線 LAN に対応した A4 ネットワークモデル “DR-S150” を2019年11月下旬より発売します。



imageFORMULA DR-S150

“DR-S150”は、無線 / 有線 LAN に対応し、PC を使わずにファイル送信が可能な imageFORMULA シリーズの新たな A4 ネットワークモデルです。

### ■ 有線 / 無線 LAN によるネットワークスキャンに対応

無線 LAN・有線 LAN・USB の3種類のインターフェースに対応し、多様なオフィス環境において、自由なレイアウトでスキャナーの共有・活用が可能です。

専用アプリケーションと連携することで、①「PC レスでプッシュスキャン」、②「スマートデバイスでスキャン」、③「複数 PC でスキャナーを共有」を実現します。

### ■ 直感的な操作ができる「大画面カラー LCD タッチパネル」

4.3インチの大画面カラー LCD タッチパネルを搭載。見やすいカラー表示と、タッチするだけの簡単操作を実現しました。直感的な操作が可能のため、作業者が迷わず操作でき、教育などにかかる管理者の負荷も軽減できます。

### ■ サーバーでスキャナーの集中管理を実現する “CaptureOnTouch Admin” を発売

専用のサーバーソフト “CaptureOnTouch Admin” は、スキャン設定やユーザー情報の集中管理を可能にし、分散業務における効率的で安全性の高いスキャナーの運用を実現します。“CaptureOnTouch Admin” を使用することで①「ジョブの管理と配信」、②「ユーザー認証」、③「プッシュスキャンの拡張」といった新たな機能を実現できます。

※ “CaptureOnTouch Admin” は2020年6月リリース予定。

製品名	価格(税別)	発売日
imageFORMULA DR-S150	10万円	2019年11月下旬

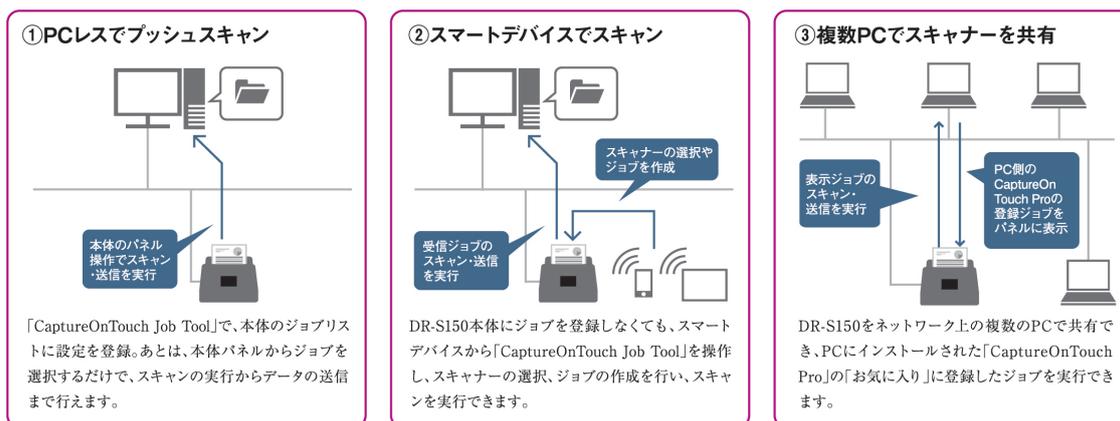
- 報道関係者のお問い合わせ先：キャノンマーケティングジャパン株式会社  
広報部 パブリックリレーションズグループ 03-6719-9093(直通)
- 一般の方のお問い合わせ先：キャノンお客様相談センター 050-555-90072
- イメージフォーミュラ ホームページ：canon.jp/imageformula
- ニュースリリースホームページ：canon.jp/newsrelease

## < DR-S150の主な特長 >

### 1. 有線 / 無線 LAN によるネットワークスキャンに対応

- ・無線 LAN・有線 LAN・USB の3種類のインターフェースに対応し、多様なオフィス環境で、スキャナーの共有・活用が可能。

専用アプリケーションと連携することで、①「PC レスでプッシュスキャン」、②「スマートデバイスでスキャン」、③「複数 PC でスキャナーを共有」を実現。



### 2. 直感的な操作ができる「大画面カラー LCD タッチパネル」

- ・4.3インチの大画面カラー LCD タッチパネルを搭載。見やすいカラー表示と、タッチするだけの簡単操作を実現しました。直感的な操作が可能のため、作業者が迷わず操作でき、教育などにかかる管理者の負荷も軽減できます。



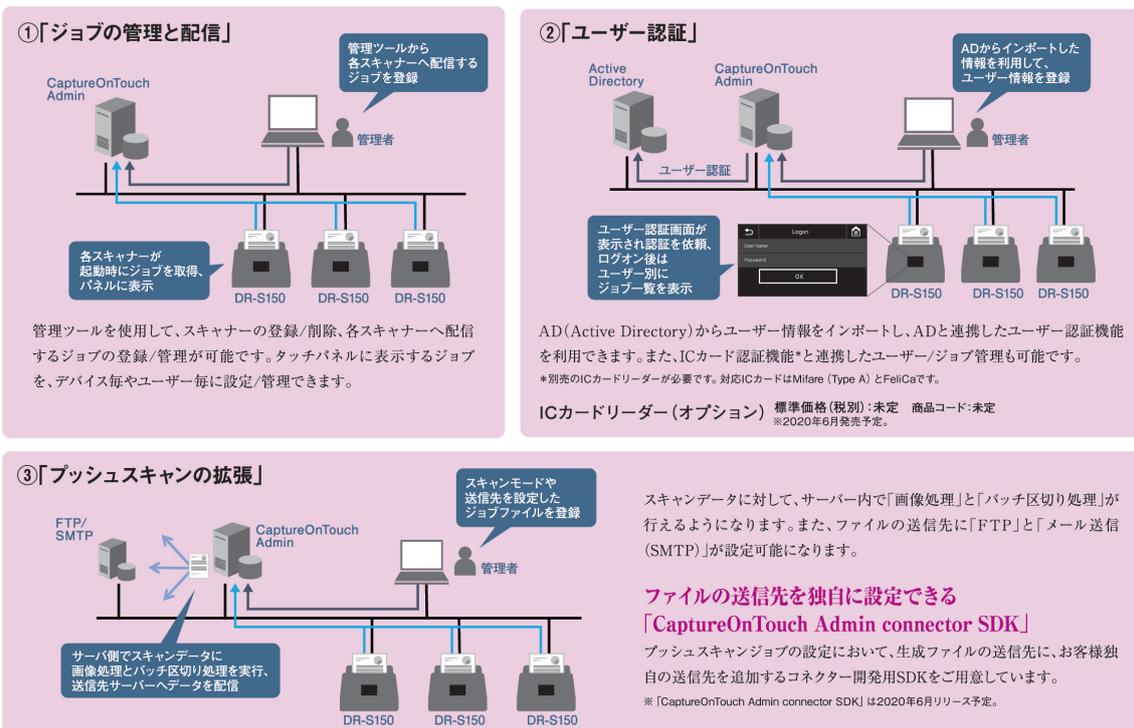
### 3. カラー・モノクロともに毎分45枚／分の高速スキャン

- ・上位機に搭載されている画像処理用「DR プロセッサー」の採用により、カラー・モノクロともに毎分45枚、両面原稿で毎分90ページ、(A4タテ\_\_、200dpi 時)の高速読み取りが可能。スキャン業務の効率化と画像の高品質化を実現。

### 4. サーバーでスキャナーの集中管理を実現する“CaptureOnTouch Admin”

- ・専用のサーバーソフト“CaptureOnTouch Admin”<sup>※</sup>は、ジョブ／スキャナー／ユーザー／カード ID の情報を集中管理し、分散業務における効率的なスキャンフローを実現します。“CaptureOnTouch Admin”を使用することで①「ジョブの管理と配信」、②「ユーザー認証」、③「プッシュスキャンの拡張」といった新たな機能を実現できます。

※ “CaptureOnTouch Admin” は2020年6月リリース予定。



## 5. 「アクティブスレッシュールド」による二値画像の画質向上

- ・二値化処理技術「アクティブスレッシュールド」により、シワや汚れのある原稿と文字の薄い原稿が混在してもページごとに明るさ、コントラストを最適化。OCR 処理に最適な二値画像を得られます。

## 6. 効率的なスキャン環境を提供するアプリケーションを同梱

- ・TWAIN / ISIS ドライバーを標準で同梱。「用紙サイズ自動検知」や「斜行補正」、「文字向き自動検知」、片面と両面の原稿が混載されているときに便利な「白紙スキップ」など、多彩な画像処理で効率的なスキャンが可能。
- ・ドキュメントスキャナーシリーズで好評の画像入力ソフト「CaptureOnTouch Pro」を同梱。高圧縮 PDF やテキスト OCR 結果付き PDF の作成をはじめとするファイル作成機能や、スキャン日時などをファイル名に付与する「ネーミングスキーマ機能」、作成済みのファイルに画像を挿入し、ページの順序を変更することができる編集機能など、画像入力関連機能が充実。

## <ドキュメントスキャナーの国内市場動向>

「働き方改革」への取り組みや、RPA の普及など、オフィス業務の効率化を図る動きの中で、書類の電子化、OCR によるデジタルデータ化など、スキャナー活用の市場ニーズは更に高まりつつあります。企業が各拠点単位で電子化を行い、データは本部で管理するという分散入力業務が増えており、電子化したファイルを簡単に送信できるネットワークスキャナーのニーズも高まっています。こうしたビジネス市場での要求を受け、ドキュメントスキャナー市場は、今後も堅調に推移すると見込んでいます。ドキュメントスキャナーの2018年の国内市場規模は約10.1万台でしたが、2019年は約9.9万台と予想しています。(キヤノン MJ 調べ)

## <主な製品仕様>

各モデルの製品仕様の詳細は、ホームページをご参照ください。